

消毒用アルコールの安全な取扱いについて

新型コロナウィルス感染症の発生に伴い、手指の消毒等のため、消毒用アルコールを使用する機会が増えていますが、一般に消毒用アルコールの物性として、次の特徴があります。

アルコールの火災予防上の特徴

- 火気近くに近づけると引火しやすい。
- アルコールから発生する可燃性蒸気は、空気より重く、低いところにたまりやすい。

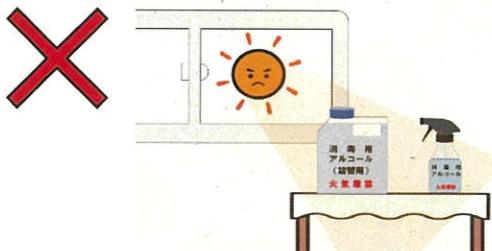
このため、ご家庭や事業所などにおいて、消毒用アルコールを使用する場合、下記に示す火災予防上的一般的な注意事項に十分注意の上、安全に取り扱ってください。

火災予防上的一般的な注意事項

- ★ 消毒用アルコールを使用するときは、火気の近くで使用しないようにしましょう。



- ★ 消毒用アルコールの容器を設置・保管する場所は、直射日光が当たる場所や高温となる場所は避けましょう。



- ★ 室内の消毒や消毒用アルコールの容器詰替えなどにより、アルコールの可燃性蒸気が滞留するおそれがある場合には、通気性の良い場所や換気が行われている場所で行いましょう。また、密閉した室内で多量の消毒用アルコールの噴霧を行うことはさけましょう。